

平成 28 年 1 月 31 日

広島県立美術館長
千足 伸行 様

広島県立美術館評価委員会
委員長 蓑 豊

平成 26 年度事業実績の評価について（通知）

標記の件については、平成 27 年 11 月 19 日に開催した当委員会において別紙のとおり行ったところですが、評価に際して各委員から出された主な意見は次のとおりですので、これに留意して美術館運営を行ってください。

1 美術館の設置目的に沿った企画運営

- 経営の健全を確保するためには、博物館系等の集客が見込める展覧会を開催することは妥当であるが、場合によっては県民に美術館への違和感を生じさせる恐れがある。

このため、美術系以外の展覧会を開催する場合は、同時期に所蔵作品の名品展などの展覧会を開催し、かつ積極的に広報を行うことによって、本来の美術館の設置目的に沿った企画運営を行っていることを県民に周知すること。

2 縮景園との連携強化

- 縮景園との連携を強化し、イベントや広報物等の充実を図ることによって県民サービスの向上へつなげること。

3 館内設備の改善

- ベビーカーの劣化や授乳室の位置の悪さ等、子育て世代の入館者から利用しにくいとの指摘がある。哺乳スペースや託児サービスの設置など、子育て中の家族が利用しやすい施設となるようサービスの改善を図っていくこと。